

キラッ! 輝く人たち

昨年10月26日、東京ビックサイトで自動車整備業界最大のイベント「第19回全日本自動車整備技能競技大会」が開催されました。

全国から53チーム(106人)が出場し、自動車整備士の頂点を競いあうこの大会。茨城県整備振興会チームの一人として参加し、みごと優勝した澤口奈央さんに、大会の様子と自動車の整備について伺いました。

全日本自動車整備技能競技大会

この大会は、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会が自動車整備の技術向上を目的に、2年ごとに開催している整備業界最大の競技大会です。優秀な整備士が実車競技、基礎作業競技、アドバイザー競技の3つの競技の合計得点を争うものです。

競技は、実車の整備点検やお客様への対応などをロールプレイング形式で競う、日常の現場に即した内容です。

大会に参加して

昨年7月の茨城県予選会で選出され、全国大会への出場が決まりました。その後、見学に行った他県の予選会を見ての感想は「こんなにレベルが高いのに出場して大丈夫かな」という不安でした。



▲中央が澤口さん(株)共栄自動車商会
左は吉田さん(株)三和トヨペット・境町在住)

「知識と経験の点検」

澤口 奈央さん
(39歳・尾崎在住)



しかし、目標が見えてきてからは練習への意気込みが変わりました。パートナーの吉田一夫さんと当日のシミュレーションを何度も行い臨んだ本番。競技終了10分前には、作業を終了しようとしていましたが、想像を超えた会場の雰囲気と緊張から本番ではそのことを忘れ、時間ぎりぎりまで作業に取り組んでしまったそうです。

成績発表で自分たちの名前が呼ばれたときは信じられず、いろいろな人からお祝いのメッセージをもらってやっと「優勝」を実感したと話す澤口さん。

「大会の練習で多くの知識と高い技術に触れることができました。すべてのお客様に、安心して自動車を使っていただけるように知識と技術をさらに高めていきたい」と今後の目標を話していました。

自動車を使うみなさんへ

最後に、整備士として自動車を使う人に対してのメッセージを伺いました。

「自動車はとても便利なものです。でも、不具合があると自分だけでなく周りの人に大きな危害をあたえる可能性があります。法定点検だけでなく、日常のメンテナンスを行ってください。そして、気になることがあれば、整備士などに早めに相談することが、自動車を安心して使うことにつながります」と話してくれました。